

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

事業名	地域高規格道路 阿南安芸自動車道 一般国道493号 北川道路2-2工区	事業区分	一般国道	事業主体	高知県															
起終点	自：高知県安芸郡北川村和田 至：高知県安芸郡北川村柏木			延長	4.0km															
<p>事業概要：一般国道493号は、高知県高知市を起点とし高知県東洋町までを結ぶ全長約104kmの道路であるが、この大半は一般国道55号との重複区間であり、実質的には奈半利町、北川村、東洋町の3町村を連絡する一般国道55号のバイパス経路として機能している。</p> <p>北川道路は阿南安芸自動車道の一部として四国東南部の幹線道路ネットワークを形成し、同地域への広域アクセス性を高めるとともに、南海トラフ地震などに備えて、津波被害が想定される国道55号の代替路として、発災時においても道路交通を維持するなど、同地域の経済発展や安心の確保に大きく寄与することを目的として計画された道路である。</p>																				
H25年度事業化	都市計画決定なし	H25年度用地着手	H27年度工事着手																	
全体事業費	約98億円	事業進捗率	約11%	供用済延長	0.0 km															
計画交通量	900台/日																			
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">B/C</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">総費用</td> </tr> <tr> <td>(事業全体) 1.1</td> <td>(残事業)/事業全体 32/35億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 1.1</td> <td>事業費：32/34億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持管理費：1/1億円</td> </tr> </table>	B/C	総費用	(事業全体) 1.1	(残事業)/事業全体 32/35億円	(残事業) 1.1	事業費：32/34億円		維持管理費：1/1億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">総便益</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">基準年</td> </tr> <tr> <td>(残事業)/事業全体 37/37億円</td> <td>平成29年</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益：17/17億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益：17/17億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益：3/3億円</td> <td></td> </tr> </table>	総便益	基準年	(残事業)/事業全体 37/37億円	平成29年	走行時間短縮便益：17/17億円		走行経費減少便益：17/17億円		交通事故減少便益：3/3億円	
B/C	総費用																			
(事業全体) 1.1	(残事業)/事業全体 32/35億円																			
(残事業) 1.1	事業費：32/34億円																			
	維持管理費：1/1億円																			
総便益	基準年																			
(残事業)/事業全体 37/37億円	平成29年																			
走行時間短縮便益：17/17億円																				
走行経費減少便益：17/17億円																				
交通事故減少便益：3/3億円																				
<p>感度分析の結果</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.1(交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=1.1~1.2(交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=0.85~1.4(事業費±10%)</td> <td>事業費：B/C=0.92~1.5(事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=1.03~1.1(事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C=1.1~1.2(事業期間±20%)</td> </tr> </table>						(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.1(交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=1.1~1.2(交通量±10%)	事業費：B/C=0.85~1.4(事業費±10%)	事業費：B/C=0.92~1.5(事業費±10%)	事業期間：B/C=1.03~1.1(事業期間±20%)	事業期間：B/C=1.1~1.2(事業期間±20%)									
(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.1(交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=1.1~1.2(交通量±10%)																			
事業費：B/C=0.85~1.4(事業費±10%)	事業費：B/C=0.92~1.5(事業費±10%)																			
事業期間：B/C=1.03~1.1(事業期間±20%)	事業期間：B/C=1.1~1.2(事業期間±20%)																			
<p>事業の効果等</p> <p>南海トラフ地震における緊急輸送道路の確保、発生時の緊急輸送路の確保、第3次医療施設への速達性の向上、地域産業（農産業）の活性化を支援など多様な効果が期待できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①円滑なモビリティの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の時間損失の削減が見込まれる ・現道等の旅行速度の向上が見込まれる ・高知龍馬空港（第二種空港）へのアクセス向上が見込まれる ②物流効率化の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・高知県東部における農産品の流通の利便性向上が見込まれる ③国土・地域ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路「阿南安芸自動車道」の一部を形成し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する ・日常活動圏中心都市（安芸市）へのアクセス向上が見込まれる ④個性ある地域の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・北川村まち・ひと・しごと総合戦略の「ゆず振興ビジョン」を支援 ・高知県東部地域への観光アクセス向上 ⑤安全で安心できるくらしの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設（高知医療センター）への搬送時間の短縮や走行性が向上 ⑥災害への備え <ul style="list-style-type: none"> ・道路寸断で孤立化する集落の解消が見込まれる ・南海トラフ地震発生時に国道55号の津波浸水想定箇所を回避し、緊急輸送道路のリダンダンシーを確保する ⑦地球環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる ⑧生活環境の改善・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・NOX、SPM排出量の削減が見込まれる 																				
関係する地方公共団体等の意見																				

地域から頂いた主な意見等

・四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟、高知東部自動車道整備促進期成同盟会、一般国道55号・阿南芸芸自動車道整備促進期成同盟会、国道493号線整備促進期成同盟会より積極的な要望活動が続けられている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成26年3月南国芸芸道路（香南のいちIC-香南かがみIC） 延長2.2km 2車線開通
- ・平成27年3月高知南国道路（高知南IC-なんこく南IC） 延長4.7km 2車線開通
- ・平成28年4月高知南国道路（なんこく南IC-高知龍馬空港IC） 延長4.1km 2車線開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

用地取得率約69%、事業進捗率約11%（平成30年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、トンネル・橋梁等の工事を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

今後も工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。

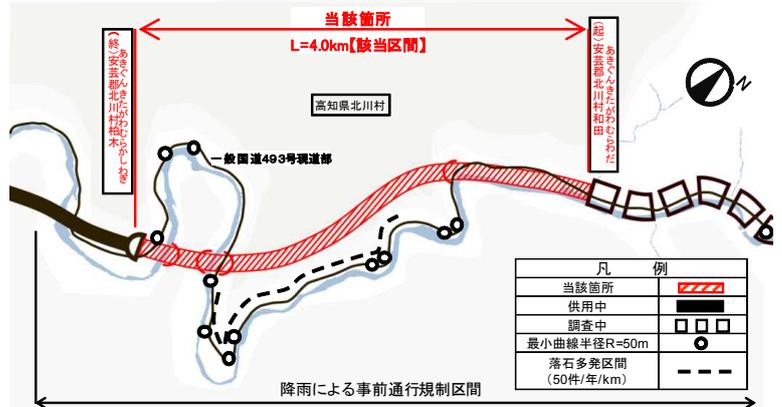
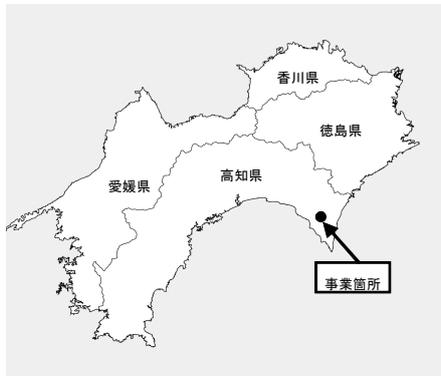
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。